

トムス RAV4 リヤバンパーガーニッシュ

このたびはトムス リヤバンパーガーニッシュ(以下リヤバンパーガーニッシュ)をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品の取り付け方法を以下に記します。正しい取り付けをお願いいたします。本取り付け説明書は「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等でご不明な点は、整備解説書等をご参照ください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、弊社技術までお問い合わせください。
本製品の内容及び付属品は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

適応車種 本製品は以下の車種に対応しています。(2019年10月現在)

トヨタ RAV4 MXAA54/AXAH54(除くAdventure,X,HYBRID X) 2019年4月～トヨタ純正用品、他社製エアロパーツとの併用はできません。

52159-TAA51-#はエキゾーストシステム「トムス・パレル」17400-TAA5#との同時装着が必要です。

52159-TAA50-#は「トムス・テールカッター」17408-TAA5#との同時装着が必要です。

取り付け上のご注意 以下の注意を必ず守るようお願いいたします。

- 1.リヤバンパーガーニッシュ取り付け作業は、必ず作業員2名で行ってください。
- 2.リヤバンパーガーニッシュ脱落防止のため、両面テープは確実に圧着し、取り付けボルト等はしっかり締めてください。
また、走行前にゆりみがないかチェックしてください。
リヤバンパーガーニッシュが脱落した場合は、重大事故につながる恐れがあります。
- 3.車両をジャッキアップする際は、必ずリジットラック等で車両を固定してください。
- 4.塗装に際しては以下の点にご注意ください。
(詳しくは「リヤバンパーガーニッシュ素地品の塗装手順」を参照の事)
ボディーコート塗布車両は、プライマーの接着力促進効果を発揮できない場合があります。プライマー塗布面のボディーコートは塗装用コンパウンド(細目以上)で剥離し、アルコールなどで拭き取り除去してください。
- 5.両面テープの接着力は、気温が15℃以下になると低下します。両面テープ及び接着面を加熱器等で温めてから貼り付けを行ってください。
- 6.両面テープの接着力促進剤として、必ずプライマーを使用してください。
- 7.両面テープの接着力防止のため、本製品の装着直後(24時間以内を目安)の洗車は行わないでください。
- 8.両面テープの貼り直しをすると接着力が極端に低下するため、貼り直しは行わないでください。
- 9.純正用品及び他社製品との同時装着はできません。
- 10.リヤバンパーガーニッシュ装着により、オリジナルより全長が約30mm長くなり、地上高が約2mm低くなります。
- 11.本製品は車両登録後の取り付けを前提としております。登録前に取り付けをする場合は持ち込み登録となります。

構成部品 本製品は以下のパーツで構成されております。欠品や破損等が無いことをご確認ください。

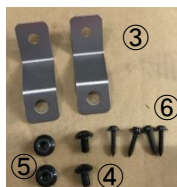
【リヤバンパーガーニッシュ構成部品】



① ※写真は52159-TAA51-#



②



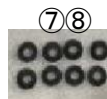
③

⑤

⑥

④

- ①リヤバンパーガーニッシュ x1
- ②PACプライマー x1
- ③ブラケット x2
- ④ボルトM6 x2
- ⑤ナットM6 x2
- ⑥タッピングスクリューM4x20 x4
- ⑦ゴムワッシャー(3mm) x4
- ⑧ゴムワッシャー(5mm) x4



⑦⑧

取付要領 本取り付け説明書は52159-TAA51-#の画像にて説明を進めますが52159-TAA50-#も同様に取り付けをお願いします。

- 1.①リヤバンパーガーニッシュ取り付け部分のゴミ・ホコリの清掃を行う。(図1参照)



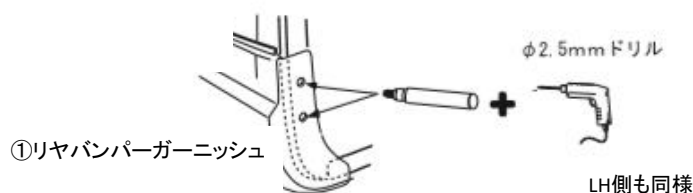
【図1】



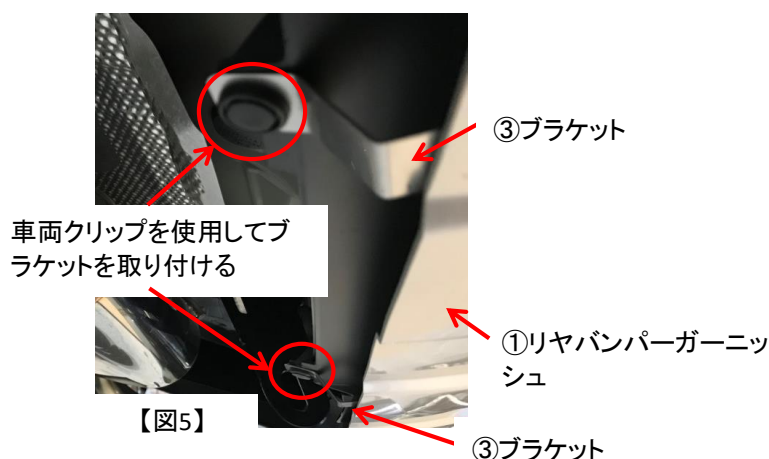
【図2】



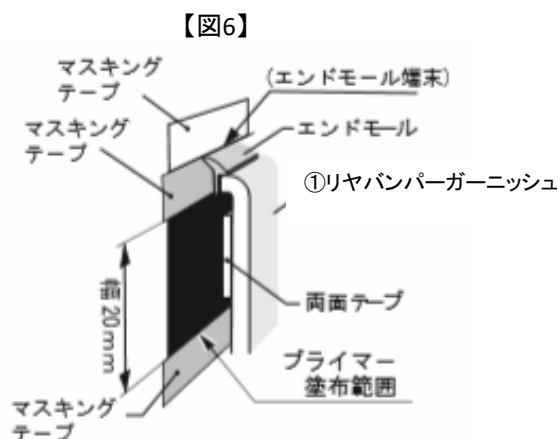
【図3】



【図4】



【図5】



【図6】

- 2.①リヤバンパーガーニッシュの仮当てを行い、取り付け位置を確認し、マスキングテープにてマスキングを行う。

アドバイス！

※①リヤバンパーガーニッシュは後方から車両の前方へ突き当てて位置を決める。

※①リヤバンパーガーニッシュの前端部とフェンダーアーチモール末端部の高さが約90mmの位置で決める。(図2参照)

注意！

マーキングが正しく行われないとリヤバンパーガーニッシュが正しい位置に取り付けられず脱落の原因となる。

- 4.①リヤバンパーガーニッシュのエンドモールドトップに合わせマスキングテープにてマスキングを行う。(図3参照)
- 5.取り付け位置を確認し、①リヤバンパーガーニッシュ前部の穴位置(ホイールハウス部左右4箇所)にマーキングをする。(図3,4参照)
- 6.①リヤバンパーガーニッシュを一旦外し、マーキング箇所にφ2.5mmの穴を開ける。(図4参照)
- 7.リヤバンパー下部の車両クリップを使用して③ブラケット(2箇所)を車両へ取り付ける。(図5参照)
- 8.車両の①リヤバンパーガーニッシュ取り付け部分及び②PACプライマー塗布範囲の清掃・脱脂をする。
- 9.①リヤバンパーガーニッシュの両面テープの貼り付け部を確認したら、②PACプライマーが塗布範囲以外に付着しないようマスキングテープにてマスキングをする。
- 10.②PACプライマーを塗布する。
プライマー塗布後は常温で10分以上放置し乾燥させてください。(図6参照)

アドバイス

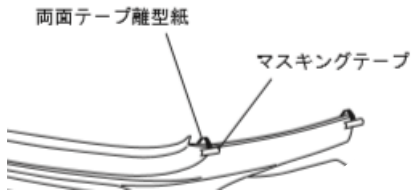
※PACプライマーN200は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするかはみだしたプライマーはアルコール等で拭き取って下さい。

※ボディーコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼付け部分を塗装用コンパウンドで除去して下さい。

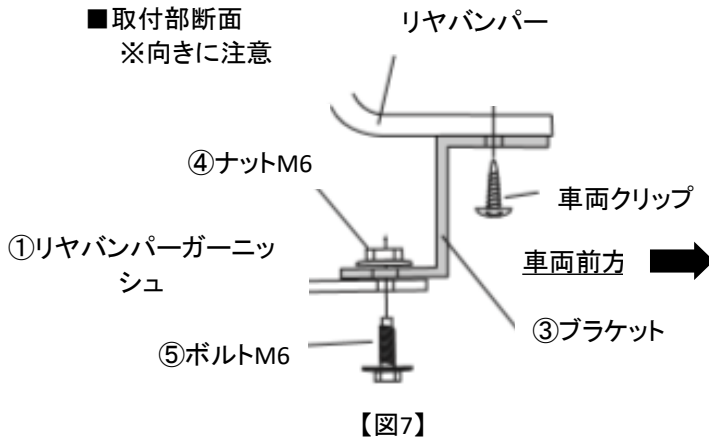
注意！

プライマー使用に際しては、3M PACプライマーN200取扱説明書に従い使用する。
乾燥の標準状態：23℃で10分～3時間
ほこり、汚れ、水滴が付着しないようにし、十分に乾燥させる。
気温15℃以下では、加熱器を使用し温める。
塗装面を黄変させる為、はみだしたプライマーはアルコール等で拭き取る。

【参考図】

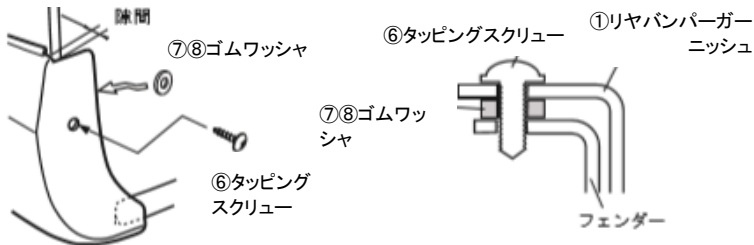


■取付部断面
※向きに注意



アドバイス！

①リヤバンパーガーニッシュのフェンダー部と車両の間に隙間が発生する場合は⑦⑧ゴムワッシャを挟み込んで取り付ける。



【図8】



13.①リヤバンパーガーニッシュの両面テープ端部の剥離紙を参考図のように50mm程度剥がし、表側に折り返しマスキングテープにて留める。

14.①リヤバンパーガーニッシュの仮当てを行い、ホイールハウス部に⑥タッピングスクリュー、ブラケット下面に車両下方向から⑤ボルトM6及び上方から④ナットM6にて仮固定を行う。(図5,7参照)

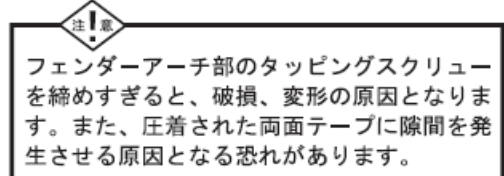
15.全体のバランスを再度確認しエンドモールトッブ部をマスキングテープに合わせ、両面テープ剥離紙を車両中央から外側へ向かって引き抜きながら圧着する。



アドバイス！

※両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度が必要です。
最低3時間程、静止時間をお取りください。

16.①リヤバンパーガーニッシュ仮付け部の④ナットM6 ⑤ボルトM6、⑥タッピングスクリューを本締めする。
※フェンダーアーチ部に隙間がある場合⑦⑧ゴムワッシャにて調整をする。(図8参照)



(お問い合わせ先)
株式会社 トムス
TEL:03-3704-6191
月～金 AM10:00～PM6:00

TOM'S

リヤバンパーガーニッシュ素地品の塗装手順

※素地品は塗装前に必ず仮取付けをして、各部に不具合がないか確認をしてください。

塗装後のクレームには応じません。

構成部品

- | | |
|---------------------|------------------|
| ①リヤバンパーガーニッシュ x1 | ⑦ゴムワッシャ(3mm) x4 |
| ②PACプライマー x1 | ⑧ゴムワッシャ(5mm) x4 |
| ③ブラケット x2 | ⑨エンドモール(ブラック) x1 |
| ④ボルトM6 x2 | |
| ⑤ナットM6 x2 | |
| ⑥タッピングスクリーウM4x20 x4 | |

I. 塗装作業手順

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂をする。
2. サフェーサー処理を行う。
3. 塗装を行う。塗装乾燥の加熱温度は60度以下で行うこと。

注意！

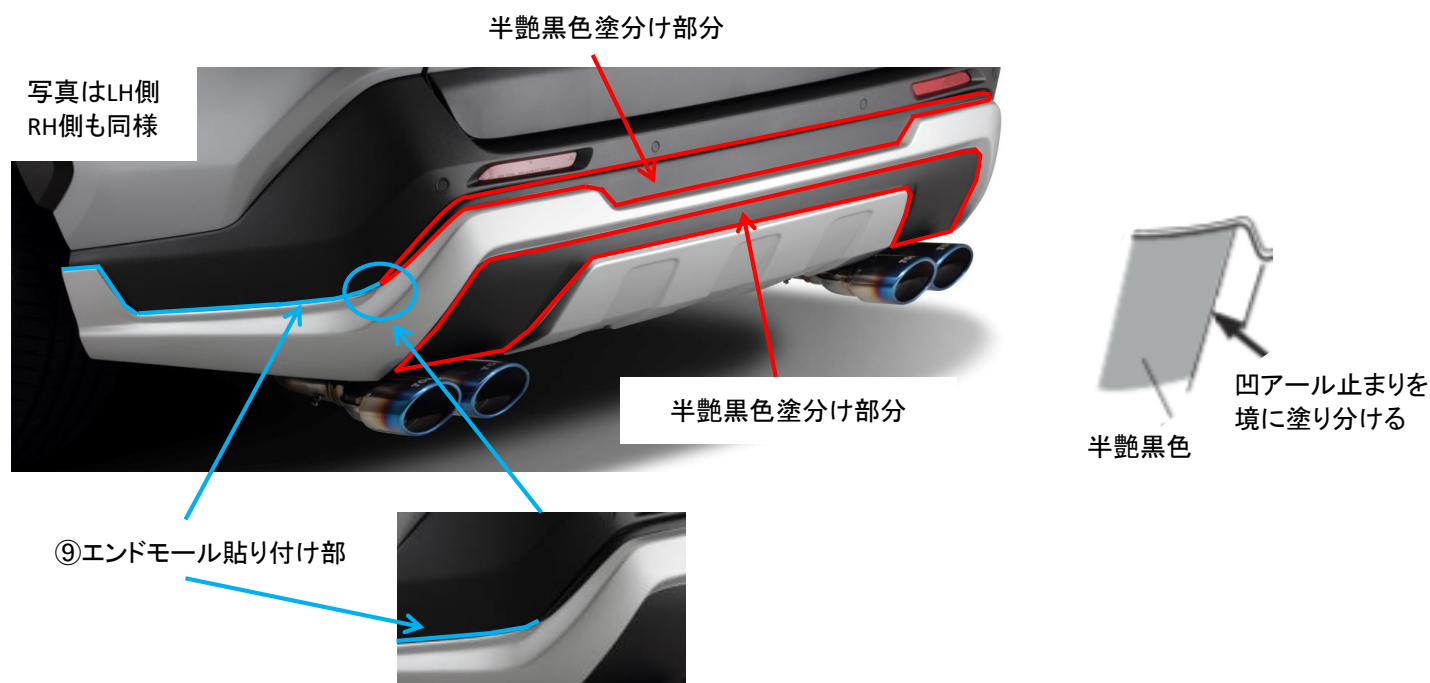
60度以上の加熱は製品変形の恐れがある。

注意！

本製品はABS製品のため適切な塗料を使用する。

II. モール貼り付け作業

1. 塗装終了後、⑨エンドモールを仮付けしアール部分にシワが発生するか確認する。
2. フロントバンパーガーニッシュのエンドモール貼り付け面を脱脂し、②PACプライマーを塗布する。
3. ⑨エンドモールの剥離紙を剥がしながら貼り付ける。



(お問い合わせ先)
株式会社 トムス
TEL: 03-3704-6191
月～金 AM10:00～PM6:00

TOM'S

